

ビデオ 川島みどり先生の監修・指導による

臨床看護シリーズ

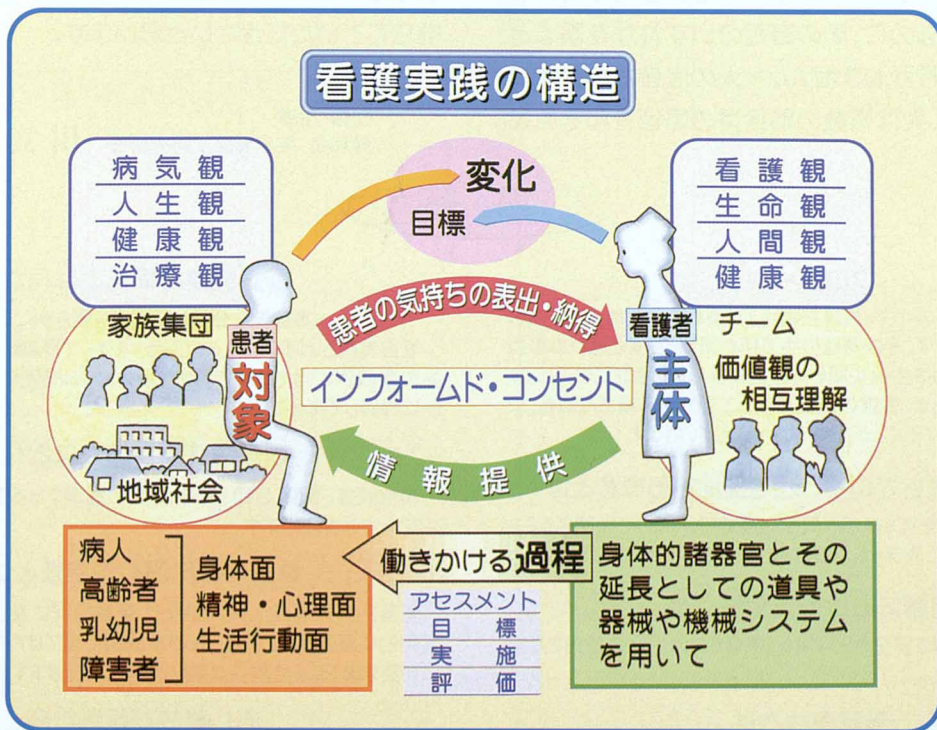
医療・看護における安全性

第1巻 「看護過程と事故防止」

VHS 30分

¥26,000

(消費税別)



〈対象〉 病院内現任教育・卒後教育・看護大学・看護学校・看護学院・施設など

企画意図

全国の医療事故が多発している。被害者の多くは医療機関の不注意や事故が起こりやすい環境から起因しているものが多く、それに対しリスクマネジメントとしての対策がとられつつあるが、いかに優れたシステムがあっても医療従事者一人ひとりの資質と意識の向上がなければ事故を防ぐことにならない。ここでは、看護教育の視点に立ち、看護過程の中で一つひとつの基本的な看護の役割を確認することの重要性を訴える。



制作・著作・発売

代理店

東京シネ・ビデオ株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-8

TEL. (03) 3242-3151 FAX. (03) 3242-3182

http://www.tokyocine-video.co.jp E-mail: info@tokyocine-video.co.jp

第1巻 「看護過程と事故防止」

制作にあたって

医療事故や看護過誤・事故の要因は実に多様です。このビデオは、その中の看護過程における事故の要因を中心に展開しました。本来、看護技術は他のどの医療技術と比較しても、より優れて安全性の高い技術であるはずなのに、その過程のいずれかを誤ると事故につながりかねません。一人の患者さんの急変という事態が、実は複数の看護婦の患者さんを見る

目(観察)と判断の誤りに端を発していたということ、事例を通して理解していただき、看護過程における安全性の考え方を身につけていただこうと企画しました。基礎教育や現任教育の場での学習に、討論に役立てていただきたいと思います。

監修・指導
健和会 臨床看護学研究所長 川島みどり

内容

プロローグ

数ある医療技術の中で、看護技術はより優れて安全性の高いものであるにもかかわらず、その過程の中で何か誤りを犯すと思わぬ事故に繋がり、患者さんの生命に関わる深刻な事態を引き起こすこととなります。この作品では、看護の過程に絞ってどうしたら事故を防ぎ、安全で安楽な看護をすることが出来るのか考えていきます。

人間らしく生きていくことを援助する概念とは

看護の基本は、患者さんが人間らしく生きていくことを援助することにあります。安全性、安楽性、自立と言う観点から考えて行きます。

看護における安全性とは

では、看護における安全性とは何か、患者さんの生命の尊重を基盤に考えます。

看護事故とは

看護の領域における事故とは何を指すのか、その定義について解説します。

ある事故例について考えてみる

慢性気管支炎で入院していた患者さんの急変事例を、再現映像を基に詳しく分析し、看護職者の対応に問題はなかったのか、考えてみます。

看護実践の構造とは何か

事故例を分析し問題点を明らかにする

看護実践とは何か、フリップ(図版)を使って詳細に解説するとともに、先の事故例に当てはめて何処にどのような問題があったのか、具体的に指摘して考えて行く。

看護実践のプロセスとは

情報収集、判断、目標、実施、評価の循環である看護実践のプロセスについて、解説します。

看護過程に潜む危険性とは

見落とし、見過ごし、先入観など、看護過程に潜む危険性について具体的に解説すると共に、先の事故例に当てはめて、先入観が如何に判断を誤らせる危険性が高いか、考えて行きます

もし事故が起きたら

不幸にして事故が起きた場合、二度と事故を起こさないためには、看護チーム全体で考え、今後の事故防止のためにどう対処すべきかを明らかにします。

結び

社会的評価に沿えるように看護職者としての自立を図り、これからも事故の防止に努めていくことが、私達の務めです。

制作協力 特定医療法人財団 健和会 臨床看護学研究所 宮城恵里子・東郷美香子・佐藤郁子

制作スタッフ

プロデューサー 横川元彦
脚本・演出 福井久彦
撮影 宮沢進
照明 澤田実
V・E 林勝明
制作進行 飯田賢一

〈次編予告〉

医療・看護における安全性

第2巻 「輸液・注射の事故防止」

VHS 30分 ¥30,000 申込み受付中